

広島市立大学附属図書館報

知 恵 の 樹

growing in OZUKA

新生活へのヒント！

大学生としての勉強ってどうするの？
 新しい暮らしに慣れなくて…
 広島ってどんなところ？
 図書館はそんなあれこれをサポートします。



LOOK HERE!

自分への挑戦



いちだい知のトライアスロン はじまります！



“トライアスロン”と言っても、自転車をこいだり泳いだりするわけではありません。
 学生時代の今だからこそ、多くの本を読んで、映画を観て、本物の美術作品を美術館で鑑賞しよう、そして、幅広い教養を身につけた市大生になろう、という挑戦がこのトライアスロンです。
 一生の友となるような本や映画、美術作品との出会いがあなたを待っているかもしれません。
 まずは、一冊、一点からチャレンジしてみませんか！

- 専用ホームページで、先生お薦めの本、映画、美術館展覧会の情報、推薦コメントを紹介しています。
- 図書館3階のトライアスロンコーナーでも、お薦めの本や映画が利用できます。
- ウォーキングコース / マラソンコース / 鉄人コース 自分の力に合わせたコースがあります。
1年生には、スタートアップコースを用意しています。
- 読書や映画・美術館の展覧会鑑賞後、コメントを投稿してください。優秀なコメントは、年1回コメント大賞として表彰します。記念品もあります。



広島平和研究所の情報資料室の図書が利用できます。

4月から、市立大学広島平和研究所（中区大手町四丁目1番1号 大手町平和ビル9階）の情報資料室の図書を附属図書館に取り寄せて、学内の皆さんに貸出できるようになりました。
 利用申し込みは、図書館カウンターで受け付けます。
 ※辞典類など一部貸出できない資料もあります。
 ※直接行って閲覧することもできます。



学生の本分…勉強

『大学生の学び・入門：大学での勉強は役に立つ！』

溝上慎一著，有斐閣，2006年【377.15 ｼﾝ 3F】

大学での勉強を「自分なりの見方や考え方をもつための勉強」と位置づけ、社会とのつながりを考えます。第7章では「本を読もう！」と題して本を読むことの意義、方法についても語っています。巻末の、学生が身近な話題について書いた「大学での学び方レポート」も参考になりますよ。

このほかに…

『大学基礎講座：充実した大学生活をおくるために』

藤田哲也編著，北大路書房，2006年【377.15 ｼﾞﾝ 3F】

『アカデミック・スキルズ：大学生のための知的技法入門』

佐藤望編著，慶應義塾大学出版会，2006年【377.15 ｷﾝ 3F】

『知のツールボックス：新入生援助（フレッシュマンおたすけ）集』

専修大学出版企画委員会編，専修大学出版局，2006年【377.15 ｷﾝ 3F】

『大学生のための論理的に書き、プレゼンする技術』

菊田千春・北林利治著，東洋経済新報社，2006年【816.5 ｷﾝ 3F】

『社会人・学生のための情報検索入門』

味岡美豊子著，ひつじ書房，2009年【007.5 ｼﾞﾝ 3F】

『レポートから卒論まで Word & Excel 講座：IT時代の基礎知識』

石田千代子著，新紀元社，2007年【007.6 ｲﾝ 3F】

広島について知ろう

『図録 ヒロシマを世界に』

広島平和記念資料館編，広島平和記念資料館，1999年【319.8 ｷﾝ 3F】

広島について知ろうとすると、「平和」・「原爆」を避けて通れません。この本は、広島平和記念資料館の展示を、写真を中心に解説しており、英語訳もついています。巻末には関連年表や参考文献一覧、別添付録として「広島平和記念公園・周辺ガイドマップ」と「被爆建造物・樹木ガイドマップ」が付いています。この本を手には広島の街を巡ってみませんか？

このほかに…

『美に誘う：中国地方の美術館』

中国新聞社，2003年【706.9 ｼﾞﾝ 3F】

『ヒロシマをさがそう：原爆を見た建物』

山下和也ほか著，西田書店，2006年【217.6 ｷﾝ 3F】

『世界文化遺産の島宮島を楽しむ』

中国新聞社，2006年【291.76 ｷﾝ 3F】

『Tj Hiroshima (タウン情報ひろしま)』

『Wink 広島』

} タウン誌は雑誌コーナーにあります。

『文化情報 to you：広島の文化・イベントまるごと掲載』

『広報ひろしま 市民と市政』

『県民だより』

図書館入口右側のパンフレット架にあります。

ご自由にお取りください

生活の知恵

『大学生のためのソーシャルスキル』 橋本剛著, サイエンス社, 2008年【377.9ハ 3F】

この本は、「友だちをつくる」「ケンカをしても上手に和解する」などといった、よりよい対人関係を築くための、手段や方法を紹介しています。大学生になると、同級生や先輩、先生などの学内での関わりに加え、アルバイト先やボランティア活動など、学外でのつながりも広がってくることでしょう。多くの人と関わり、有意義な学生生活を送っていただきたいものです。恋人との出会いも待っているかもしれませんよ。

このほかに…

『大学生の生き方・考え方：脱フリーター宣言!』

塚谷正彦著, 実教出版, 2004年【377.9カ 3F】

『現役大学生による学問以外のススメ：実在学生21人による「学外活動」ドキュメント』

「学外活動」出版プロジェクト編著, 辰巳出版, 2007年【377.9ガリ 3F】

『二十歳(はたち)の法律ガイド』

木村晋介・中野麻美・島村麻里著, 有斐閣, 1999年【320.4ハ 3F】

『インターネットの法律Q&A：これだけは知っておきたいウェブ安全対策』

岡村久道・森亮二著, 電気通信振興会, 2009年【320.4カ 3F】

『かんたん!自炊術：おいしく食べて上手に節約するコツ』

ひとり暮らし生活向上研究会編, 大和書房, 2008年【596ヒ 3F】

『藤井恵のヤサイおやつ』

藤井恵著, 家の光協会, 2008年【596.65マ 3F】

ホトク情報



☆ひろしま美術館の展覧会が無料で観られます。

ひろしま美術館（中区基町3-2）では、入館の際に市立大学の学生証または職員証を提示すると、常設展・特別展を無料で観覧することができます。空き時間、休日にちょっと立ち寄ってみませんか。

★お薦めの展覧会

ベルギー近代美術の殿堂 アントワープ王立美術館展 アンソールからマグリットへ
会期：4月4日（日）～5月28日（金）

★トライアスロンスタートアップコースの推薦展覧会です。

☆市立図書館の本が大学の図書館で利用できます。

附属図書館では、市立図書館の本を取り寄せて、カウンターで貸し出しています。附属図書館に所蔵していない小説や趣味の本などを読みたいときは、ぜひご活用ください。

◇貸出冊数 5冊まで（通常の貸出冊数に含めます。）

◇貸出期間 2週間

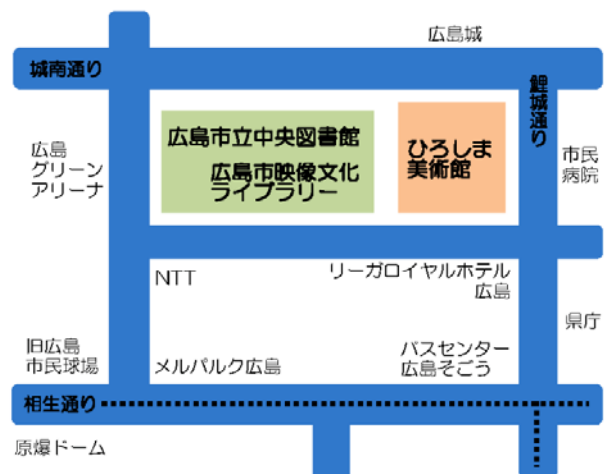
◇利用対象者 本学の学生・教職員

◇利用方法 附属図書館カウンターでお申込みください。

※雑誌・まんが・事典類等取り寄せられないものもあります。詳しくはカウンター職員にお尋ねください。

★市立図書館の所蔵資料は、こちらで確認してください。

URL：<http://www.library.city.hiroshima.jp/>



わたしの一冊

国際学部 田川玄 准教授

『春雪記』

内田百閒著 1991年 福武書店

私は「なまける」ことを書いている随筆を好んで読む。飄々と「なまける」さまに惹かれるのである。その一人が内田百閒である。

内田百閒の随筆をはじめて読んだのは中学生か高校生の頃だと思う。『阿房列車』といった一連の鉄道随筆であった。それから随分とたって、大学院生のときに再び古本屋で買った百閒の随筆や小説を読むようになった。

「……私のなすべきことは、もう昔からきまりきっている様な気がする。きまっては居るが、若しかすると、それは外に何もする能力のないと云う事の結着なのではないかと云う様なことが考えられる。それは問題ではない。兎も角もやろう、と私は思う。(中略) 私は先ず原稿紙を伸べた。」そして筆をとるが創作とは違うことが気になりだし、「その内に、自分で考えが外れていることに気がついて、もとの所に戻ったときには、もう劣れてしまい、興味もなくなっていて、今更どうすることも出来なかった。私は、更に後日に期することにして、一先ず原稿紙を片づけた」(内田百閒「駒込曙町」『春雪記』1991年、福武書店、pp.56-58)

一事が万事このような調子である。二年をこえたアフリカにおけるフィールドワークから帰国した後の私のぼんやりした生活に重なった。

同書にある川本三郎の「解説」(pp.274-280)によれば、百閒のユーモアは社会から外れた「余計者」の頓着しないさまにあるが、実はそれは近代日本の知的エリートの強烈な自意識の表れである。そういわれると少しく白けた。残念ながら、私は百閒ほどの知的エリートの高みにたったことがなく、そこから降りて「なまける」こともできないのだった。私は単なる「余計者」でしかなかった。

この本は図書館3階にあります。ご利用ください。 <請求記号 914.6 ㍿>

いちだい 市大コーナー新着図書

『東南アジアからの問いかけ』 山本信人編著 (第6章執筆:板谷大世【国際学部】)

『核は廃絶できるか:核拡散10年の動向と論調』 水本和実著【広島平和研究所】

『多文化・共生・グローバル化:普遍化と多様化のはざま』 広島市立大学国際学部国際社会研究会編

市大コーナーには卒業生の著書もあります。ご利用ください。



附属図書館の携帯サイトができました!

OPAC(蔵書検索)と、図書館カレンダーが利用できます。

URL <http://www2.lib.hiroshima-cu.ac.jp/opac/homepage/k/k-index.html>

通信料(パケット通信料等)は利用者の負担になりますので、ご注意ください。



編集後記

図書館では各学部の新入生に向けたガイダンスの準備中です。《図書館でできること》を理解して、活用してもらえることを期待しています。わからないことはお気軽にカウンター職員にお尋ねください。

□やかましいようですが…、「館内では静かに」・「飲食・喫煙は禁止」・「携帯電話はマナーモードに。利用は館外で」。お互いに気持ちよく利用できるよう、マナーは守ってくださいね。

2010年4月1日発行
広島市立大学附属図書館

広島市安佐南区大塚東3-4-1

TEL : (082) 830-1508

FAX : (082) 830-1659

E-mail tosh@lib.hiroshima-cu.ac.jp

<http://www2.lib.hiroshima-cu.ac.jp>